

何かに夢中って  
素晴らしい!!

# シャカガ

瓦版

VOL.14

2020年  
10月1日

【シャカリキ】[名][形動]夢中になって何かに取り組むこと。お釈迦様が人々の幸せのために力の限りを尽くしたことから、このような姿を「お釈迦様の力=釈迦力」というようになりました。



妙見山法得寺

〒546-0012 大阪市東住吉区中野4-5-26

Tel.06-6702-7373 Fax.06-6702-7767

e-mail: info@houtokuji.net

永代供養専用ダイヤル Tel.06-4302-4194 (よいくよう)

ホームページ <http://www.houtokuji.net>

私達を見守り続ける  
法得寺の仏像  
シリーズ

## き し ぼ じん 鬼子母神



人の子を食らう恐ろしい鬼女が改心して  
安産と子供の成長を見守る神様に…

びしゃもんてん  
毘沙門天の部下で八大  
夜叉大将の一人である散脂  
夜叉の妻訶梨帝母は、鬼女  
であり、500人の子の母で  
した。子供達に栄養をつける  
ため、人間の子を捕えては食  
べていました。そのため多くの  
人間から恐れられていました。

それを見かねたお釈迦  
さんは、彼女が最も愛して  
いた末子のピンガラを隠し  
ました。多くの子を持ちなが  
らも、たった一人を失っただ  
けで彼女は狂乱し、何日も  
世界中を探し回りました。

お釈迦さんは彼女に言  
いました。「戒めを受け、人々  
をおびやかす事はやめなさい。  
そうすればピンガラに会える  
だろう」と…。

彼女がそれを承諾し三宝  
に帰依すると、お釈迦さんは  
隠していた子に戻してあげ、  
五戒を守り施食によって飢え  
を満たすこと等を教えました。

こうして彼女は仏法の  
守護神となり、我が子を失  
う悲しさと命の大切さを説  
き、安産と子供の守り神  
「鬼子母神」となりました。

合掌した姿  
口が裂け角を生やした姿  
天女の姿で子供を抱く姿  
子供と手を  
繋ぐ姿など  
日本各地に  
色んな像が  
存在します。



【ザクロ】  
人間の子を食べるの  
を止めさせるために  
人肉の味がするザク  
ロの実を釈迦が与え  
ました。

二十八部衆

鬼子母神の家系図

夜叉  
毘沙門天  
(クペーラ)

鬼神  
父

鬼女  
母

部下

八大夜叉大将  
散脂夜叉  
(パーンチカ)

夫婦

鬼女訶梨帝母  
(ハーリディー)

鬼子母神

500人の  
子供

末子  
ピンガラ



# 「<sup>ぶっ</sup>仏旗<sup>き</sup>」って何の色??

法得寺の境内にも掲げられている、鮮やかな5色の旗は、仏さまの旗であり、仏教徒のシンボルです。

仏教を象徴する仏旗は、左から青色、黄色、赤色、白色、<sup>かば</sup>樺色、そして5色が混ざってできる「輝き」を合わせた6色が並んでいます。

古くから伝わるお経『小部経典』には、「仏陀が力をはたらかせる時に、体から6色の光を放った」と書かれています。

仏旗はこの6色の光を表現しており、<sup>ろっこんじき</sup>六金色旗とも言われ、仏さまの教えと世界の平和を表しています。



**青**

**仏陀の髪の色**  
 【定根】<sup>じょうこん</sup>心乱さず穏やかな状態で力強く生き抜くこと

**黄**

**仏陀の身体の色**  
 【金剛】<sup>こんこう</sup>豊かな姿で確固とした揺るぎない様子

**赤**

**仏陀の血液の色**  
 【精進】<sup>しょうじん</sup>大きな慈悲の心で人々を救済し続けること

**白**

**仏陀の歯の色**  
 【清浄】<sup>しょうじょう</sup>清らかな心で悪業や煩惱を清めること

**樺**

**仏陀の袈裟の色**  
 【忍辱】<sup>にんじく</sup>侮辱や迫害誘惑などに耐え忍び怒らぬこと

**輝**

**5色を混ぜた無色透明**  
 【玻璃】<sup>はり</sup>仏教における七宝のひとつ水晶のこと

<sup>ろっこんじき</sup>  
**六金色**



**お礼**  
 当山住職 土井兼廣上人の奥方、元枝が遷化の際には、コロナ禍にもかかわらず、多数の皆様にご来寺頂き、誠にありがとうございました。家族一同お礼申し上げます。

**訃報**  
 去る9月22日、檀家さんの木谷健二さん(享年82歳)がお亡くなりになりました。告別式は24日、法得寺本堂において、しめやかに執り行ないました。心よりご冥福をお祈り致します。

**寺院葬のご案内**  
 法得寺では、かねてよりご要望のありました寺院葬の形態が整いました。本堂の祭壇を背景に、荘厳でしめやかに故人をお送りすることができます。葬儀費用も抑えられます。お気軽にお問い合わせください。

